



追手門学院
中・高等学校[茨木] 校長
原田 哲次

両中高での新たな取り組みと アメリカンフットボール部の活躍

追手門学院校友会山桜会の皆様には、日頃より本校の教育に対して、ご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。今回は、両中高の新しい教育についての取り組みとアメリカンフットボール部の活躍をご紹介します。

〔両中高での新たな教育への取り組み〕

両中高は2020年に創立70周年を迎えます。新キャンパスへの移転を契機に本校のみならず両中高の飛躍的發展を目指して教育内容の充実を図るべく、“両中高70周年 将来構想委員会”を開催し熱のこもった議論を重ねています。少子高齢化、グローバル化など社会の変化に対応し“独立自強・社会有為”を体現できる力強く生き抜く生徒をどのように育てるかという視点で、教育の内容、教授法、教育の形態などについて議論を展開しています。

本校では、“新たな学び”に視点を当て教育実践に取り組んでいます。各教科での授業、総合的な学習の時間などの中で、これまで



での教室で先生の講義を聴いて知識を貯める一方向の授業でなく、個人で調べる、少人数で議論しながら知識を深める、大人数の前でプレゼンテーションをするなどの授業を通し

て、グローバル化した社会で必要な力を育てる実践に取り組んでいます。

〔アメリカンフットボール部、初の全国大会出場〕

本校アメリカンフットボール部 LUMBER JACKSが全国大会に出場しました。創部以来の快挙です。大阪府の予選リーグでは、強豪の関西大倉高校、箕面自由学園高校の両校を破り決勝トーナメントに進出。決勝トーナメントでは大産大附属高校に破れましたが、高槻高校に無失点で勝利し、大阪府の3位代表として全国大会に出場しました。

全国大会出場を称え山桜会から横断幕をご寄贈いただきました。本誌をお借りしお礼申し上げます。今回の全国大会出場を契機として更なる高見を目指して頑張ります。これからも応援をお願いいたします。



2019年4月 新キャンパスに全面移転します

変化が激しく先行き不透明、多様な価値観、正解のない社会、こうした時代だからこそ、これまでの知識蓄積型の学習（一方向の教授法による知識の蓄積）ではなく、新しい学び（個別学習、協働学習、知識の発進などインプット、アウトプット様々な学習形態での学び）による、独立自強・社会有為を体現できる次代を担う人

材の育成が求められています。

教室の壁は可動式であり、各階に書籍を置き学校全体が図書館となっており、wifi 設備を活用して、flexible に知識を得、その知識を様々な形態でアウトプットすることができる学舎となります。

曲線がかたどられた外観は、柔らかさや柔軟性を感じさせ、生徒を温かく受け入れるとともに「新たな学び」を彷彿させるものとなっています。

JR茨木駅の京都側に新駅・JR総持寺駅が2018年開業します。新キャンパスへは新駅から北へ徒歩10分ほどです。

